



# 士別ロータリークラブ会報

創立1960・3・24 RI第2500地区

vol.07 No.2481

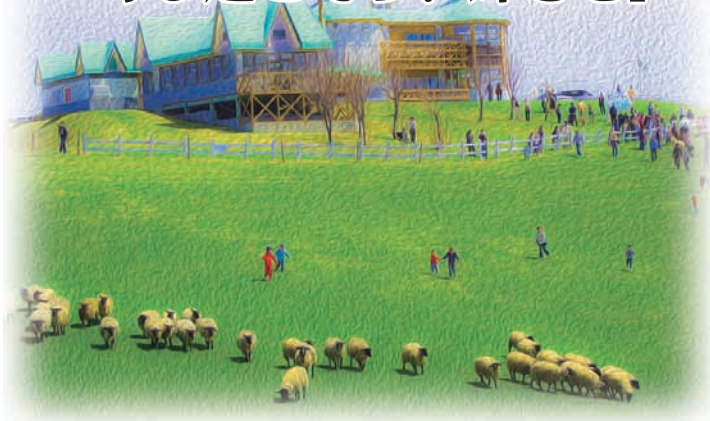
2014～2015年度 国際ロータリーテーマ



2014～2015年度RI会長 ゲイリーC. K. ホアン

2014～2015年度士別ロータリーのスローガン

「呼び起こそう、輝きを」



- 例会場／士別グランドホテル
- 例会日／毎週月曜日 12:10～13:10
- 事務所／士別グランドホテル TEL:(0165)23-1234
- 会長／宮崎隆雄 ■副会長／北村浩史
- 幹事／坂口芳一

## 今日のプログラム 第2562回例会 2014年9月1日(月)…〈普通例会〉

### ■8月25日の記録■ ガバナー公式訪問例会

- 司 会 佐藤元信 会場監督
- 齊 唱 奉仕の理想
- 本日の出席 会員47名中 出席者40名 出席率85.11%
- 本日の欠席 菊地 仁、黒田康敬、佐藤和彦、佐藤元保、佐藤安司、二井内亮太、野 英俊
- メイクアップ
- ビジター
- ゲスト 奥 周盛(2500地区ガバナー)、小林善之(地区副幹事)、太田隆博(地区副幹事)
- ニコニコBOX 奥 周盛ガバナー様(公式訪問例会に対して)

累計86,000円

### 例会予定

#### ■9月の予定……《新世代のための月間》

- 9月1日(月)／例会・理事会
- 9月8日(月)／例会
- 9月15日(月)／休会(法定休日・敬老の日)
- 9月22日(月)／例会
- 9月29日(月)／夜間例会

#### ■10月の予定……《職業奉仕月間・米山月間》

- 10月6日(月)／例会・理事会
- 10月13日(月)／休会(法定休日・体育の日)
- 10月20日(月)／例会
- 10月27日(月)／夜間例会

■会務報告 .....宮崎隆雄会長

- 本日は、ガバナー公式訪問例会で御座います。遙々帯広の地から、奥ガバナー様始め2名の随行者様、また本山ガバナー補佐様、本当にご足労頂き有難うございます。メンバー全員本日を楽しみに且つ緊張を持って歓迎させていただきます。奥ガバナーに於かれましては、後程ご挨拶と講話を頂く予定で御座います。よろしくお願ひ致します。
  - 今月14日に第39回土別天塩川まつり納涼花火大会、17日にはふるさと広場、天塩川パレードと土別の夏の一大イベントが挙行されました。本年は天候にも恵まれ多くの観客の見守る中、盛況のうちに終演となりました。イベントに関わった会員の皆さん大変お疲れ様でした。
  - 昨日24日、土別水郷公園において、サフォークランド土別プロジェクト主催による「さほっちとメイ」の結婚式に出席して参りました。さほっちとメイはサフォークランド土別のイメージキャラクターであり、最近のテレビCMで観られるようなストーリー性を持った話題作りと捉えられると思います。今後どの様な物語に発展していくのか楽しみ感を持ちつつ見守っていききたいものです。
  - 本日は、先月に続きうれしう報告となります。新入会員入会式を行なえる事となりました。後程執り行います。
  - 8月に入って、連続した台風の上陸などにより日本の広い範囲で大気の不安定な状態が続いております。当地は比較的自然災害の少ない地域ではありますが、対策を怠らない様したいものです。
- 幹事報告 .....坂口芳一幹事
- 下川RC50周年記念式典の出欠を今日までとお願いしておりますので、まだ出欠の返事を出されていない方は、例会終了までに幹事まで連絡を宜しくお願い致します。
  - 10月11日、12日に帯広で開催されます地区大会の案内を先日FAXで参加案内を送らせて頂きましたが、まだ出欠の返事を出されていない会員の方は、例会終了後までに宜しくお願い致します。
  - 新入会員江端健之会員の委員会配属を親睦活動家族委員会に配属とさせていただきますので、宜しくお願い致します。
  - 社会福祉法人土別福祉会つくも園、ふれあい青空祭の会券が来ておりますので、後ほど國森社会奉仕委員長よりお願いにあがると思いますので、協力のほど宜しくお願い致します。ていましてので、是非皆さん協力をお願いしたいと思います。

■委員会報告

- 親睦活動家族委員会.....細川博司委員長  
例会後、奥ガバナー皆様のご歓迎のもと、新入会員の歓迎会を開催致します。担当させて頂きますので、この会食中に出席の有無を取らせて頂きたいと存じます。宜しくお願ひを申し上げます。

■新入会員入会式

- 新入会員紹介...会員増強委員会/大野裕一郎委員長  
(株)江端商店代表取締役 江端健之君であります。お父さんは皆さん既にご承知のように江端捷浩さん。当ロータリークラブの創立30周年時の会長を務められた方でありました。健之君は昭和44年2月6日生まれ、当年45歳、独身、至って健康でございます。健之君が20歳の成人式の時にお父さんがロータリーの30周年の会長を務めました。お父さんが他界され、健之君がお父さんの後を引き継いで会社に戻られ、大変ご苦労された方でありました。会社も厳しい時代、持ち前のバイタリティーそして誰にも負けない不屈の闘志で会社をある程度軌道に乗せてロータリーに入る気持ちがやっと高まってきて、新入会員として入会して頂くことになりました。皆さんにもこれからも車の燃料或いはスポーツ用品等、ご用立てあるときにはどうか江端商店をご利用頂ければと思っております。ロータリーのメンバーとして友情を深め、ロータリーの創立以来の相互ビジョン精神というものを、この土別ロータリークラブに残っております。また、1つの精神の貴重なものになっております。こういった部分を皆さんご活用ご利用をお願いしたいということであります。職業分類は石油販売業であります。そういった意味でバリバリ若手経営者として頑張っている1人でありますので、宜しくご指導をお願い致します。

- 新入会員挨拶.....江端健之会員  
父がロータリークラブさんで長くお世話になっていて、会長も務めたということで、紹介して頂いたんだと理解しております。皆さんの顔を見ると非常に自分が場違いな、僕がここにいていいのかという感じがしております。僕は社交的な性格ではないので少しでも皆さんと何かを学べたらいいなど、自分の何かを高める事が出来たらいいなど思っております。

■ガバナー卓話

2014~2015年度第2500地区ガバナー/奥 周盛氏  
2014~2015年度のR Iテーマ「ロータリーに輝きを」ということであります。今年度のR I会長ゲイリー・

C. K. ホアン会長は、台湾RC出身で、中国人としては初めてのRI会長という方です。ゲイリー・ホアン会長が「ロータリーに輝きを」というテーマの云われは、2500年前の中国の思想家であります孔子の言葉を引用してきたといわれております。これに関しましては地区活動計画書、PETS地区研修協議会の時にご紹介しましたので、今回は割愛させていただきます。ロウソクという灯りのヒントから「ロータリーに輝きを」ということになったという訳です。もう1つゲイリー・ホアン会長が引用している言葉があるのですが、皆様お気づきでしょうか。活動計画書の中にも載っておりますが、やはり孔子の言葉で、まず自分の行いを正しくし、次に家庭を整え、次に国家を治めてこそ、天下が平和となるという言葉があります。孔子の教えているのは論法という形で今日伝わっております。儒教・儒学の教科書となっております論語。論語というのは孔子がまとめたものではなく、孔子の弟子が孔子が亡くなった100年、200年後にまとめられたものと言われております。ですから論語そのものは孔子は知らないんですね。今申し上げた言葉論語の中に、周子・成果・治国・栄典かという漢字の言葉で書かれているそうです。この言葉ロータリーの目的をご存知だと思いますが、ロータリーの目的の第3条「ロータリアン一人一人が個人として又事業及び社会生活において日々奉仕の理念を実践すること。そして奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的ネットワークを通じて国際理解親善への推進すること」という文章であります。第3奉仕の理念、私どもが標語としております、例えば超我の奉仕ですとか、職業奉仕の金看板であります四つのテストですとか、諸々の奉仕の理念というものを私たちロータリアンは個人生活の中で家庭生活の中で或いは事業ということは職場において、社会生活ということは地域社会において日々実践することとされている。奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的ネットワークで世界平和を推進するという内容であります。ここにありますように、孔子の言葉とまさしく相通じるものがあるのでしょう。孔子というのは2500年前に中国で生きていた思想家であります。ロータリーは110年の歴史しかありませんが、そういう意味におきましては、共通する理念を称してゲイリー・ホアン会長は元祖ロータリーは孔子を称して元祖ロータリアンと言った訳であります。ここにありますように論語を紐解いてみますと、結構共通する理念がたくさん出て参りました。キーワードだけ並べてみてもロータリーの理念

と比較できるものが多々あります。仁という言葉があります。これは思いやりという言葉であります。人を慮る心、ロータリーでいえば利他の心或いは超我の奉仕という意味に通じると思います。君子という言葉があります。君子というのは徳を治めた理想的なリーダー、そういうのを称して君子と呼んでいる訳ですが、ロータリーにおきましてはリーダーシップ、リーダーというのは理想的なリーダーを求めているんですが、どういう人物かということロータリーの理念を實踐出来る人、或いは法結成、職業倫理をきちんと身につけた人、そういう人をリーダーと呼んでいる訳でありますし、そういうものをロータリー活動の中で求めているのではないのでしょうか。友という言葉が出て参ります。友人、この友というのは単なる仲良しではなくて、論語におきましては、孔子の思想を理解した仲間、孔子の思想を實踐している弟子、こういう人達を友と呼んでいる訳であります。ロータリーにおきましてはロータリーの理念をきちんと分かち合う仲間、それが友情で結ばれている、親睦を通して交流をし、友情を培う、そういうものをロータリーの友達、友と言っているのではないのでしょうか。そして学習という言葉があります。我々学習というものを単純に学習と言っておりますがこれには二つの意味が込められております。「学びて習う」というふうに二つに分かれております。学ぶということはどういうことかということ、歴史を学ぶということであり、先人の知恵を知ることです。では習うというのはどういうことかということ、学んだことを繰り返し自分の身につけるということであります。学習の習という字が習慣或いは慣習、その習という漢字であるということをご理解頂ければ学習の意味がわかるかと思えます。ロータリーにおきましては研修という言葉があります。我々が日々ロータリーの理念或いはロータリーの歴史を学びながらロータリーを實踐しているわけであり、超我の奉仕という言葉も先人の知恵であります。フランク・コリンズという第二代RI会長の方が国際大会において述べたスピーチの中に超我の奉仕という言葉が出てくるんです。それが第二の表を皆さんご存知だと思んですが、「最も奉仕するもの、最も多く報いられる」という言葉、ロータリーの第二表と言われております。これはアーサー・シェルドンという方が述べたものであります。やはり歴史的人物の知恵であります。最も馴染のある四つのテストもハーバード・テイラーという方が倒産しかかった会社を立て直す為に、社員の志気を濃くするために作っ

たものといわれております。我々はロータリーの職業奉仕の理念、社会奉仕を通じて奉仕活動をするにあたって、自分達の基本的な理念というものは歴史から或いは先人の知恵から学んだものが私どものロータリー活動の基本となっており、やはり学習しているわけです。世の中の価値観というのは二律背反、合い出でない価値観が多々あります。しかし時のリーダーというのは決断をしなくてはなりません。会社の経営においても同じだと思います。その時に偏った価値観で判断してはいけない、バランス感覚が必要である。ロータリーの歴史におきましても二律背反という意味におきましては利己と利他の調和というものがあります。やはりバランス感覚が大事であります。ロータリーにおきましては更に単なる二つの価値観だけではなくて、多様性もっと多くの価値観を求めているわけでありまして、個人の尊重なんです。個人それぞれ個性のある方がたくさんいるんです。個人に限らず国、民族、そういうことを含めた中で多様性ということをおきましては認めているんです。それを望ましいとしているわけです。しかしぶつかり合う価値観があります。そこに大事なのが寛容であります。多様性と寛容、二つの価値観によって中庸が保たれる、バランスが保たれるわけです。そして天命という言葉があります。天から授かった使命というのは人間誰しも持っている、人間は皆さん平等で、上下はありませんという教えがあります。ロータリーにおきましては天職という言葉が繋がっている、職業には上下はありません、全て聖なる職業である。その職業というものを大事にして職業の品位を保ち落とすことなく職業倫理を私どもは実践することがロータリーにおいての職業奉仕であるというふうに習っております。ロータリー財団の未来の夢計画でV T Tというのがあり、ゴケイションダブトレイニングチーム、職業研修チーム、やはりゴケイションと言う言葉を必ず使っております。価値観というのが似ていて、ロータリーの価値観を諸々申し上げましたが、ロータリーの戦略計画の中核的価値観というのがあります。2010年に作製されたものでありますが、ロータリーは今後どのような方向に向かって奉仕活動を進めるのであろう、どのような運営をしていくのであろうといった場合の礎になる基本になるものであります。ロータリーの戦略計画の中核的価値観いわれるともものが真ん中の五つであります。親睦・法結成・多様性・奉仕・リーダーシップ。この五つの中核的価値観というものがロータリーの戦略計画であります。この中核的価値

観に基づいて、クラブのサポートを強化し人道的奉仕活動の重点化を行い、公共イメージの認知度を補充させましょうということでロータリー活動を実践させるものであります。その礎になるのが中核的価値観の五つであります。今申し上げた論語のキーワードと比較した中でも見事にここに奉仕・法結成・親睦・多様性こういったものが含まれているわけがあります。孔子の教えとロータリーが共通するというベースは実践哲学だということです。日本のロータリーの創始者といわれる米山梅吉がロータリーは純正哲学だとおっしゃったことは皆さんもよくご存知だと思いますが、純正哲学、実は実践哲学なんです。頭の中で考える知識としての哲学ではなくて日々の生活の中でそれが行動に移す移されるというものである。何か生活の中で決断をしなければならぬ、判断をしなければならぬというところのより所となる哲学と御理解して頂ければいいと思うんですが、それではどのような場面でそのような価値観が出てくるんだらうということをおきまして、この部分を読んでみると解りやすいのでご紹介したいと思います。「私たちは親睦を通じて生涯にわたる友情を育み、国や文化を超えた理解を促します。私たちは法結成をもって約束を守り抜き、倫理を守ります。多様性を誇るロータリーは様々な考え方を繋ぎ多角的なアプローチで問題に取り組みます。私たちは奉仕を通じてリーダーシップと職業のスキルを生かし、地域社会の問題に取り組みます。」どのような状況の中思い紹介致しました。そしてロータリーの原点1905年2月23日、ロータリーの創立記念日と言われておりますが、当時36歳のハリスがシカゴで作ったシカゴRCがロータリーの原点であります。人間に取りまして普遍的な心理、普遍的な哲学という意味におきましては、2500年に匹敵する理念であるということでありまして、それよりも更に優れているのは世界に120万人、世界で約200の国と地域に普及しているということは、国家を超え、民族を超え、こういう普遍性を持った理念であるということは、更に素晴らしい理念だと私は思うわけです。そしてこの論語は日本人にも非常に親しみがあります。「仁」という言葉思いやりというふうにご紹介しました。温故知新、方言令色、棒来朴訥、切磋琢磨、これらの四字熟語すべて論語から出ております。普段何気ないスピーチの中で結構引用している場面があるのではないのでしょうか。

(続きは次号以降に掲載致します)